

第五回S-1サーバーグランプリ全国大会レギュレーション

● 全国大会進出者

各地区大会にて優勝した9名のサーバー（関東地区は規定により2名）

● 審査方法

「規定審査」及び「自由審査」の2項目において
ステージ上にてデモンストレーションを行っていただき、繁盛店への道が選抜した審査員、
及び来場客の投票により、順位を決定します。

● 審査順番の決定方法

全国大会当日の開会前に、ファイナリスト全員による規定審査順番と自由審査順番のそれぞれのくじ引きを行い
「規定審査」「自由審査」のデモンストレーション順番を決めます。

● 審査概要

「規定審査」現場で起き得る様々なシチュエーションに対して、サーバーとしてどのように対応するのかを問う審査

2つの定められたシチュエーションにおいて、いかに対応するかを審査します。
ステージ上に2組のテーブルを配置し、2組のお客様からのそれぞれのシチュエーションに対応していただきます。

この2組のお客様のシチュエーションは、当日まで非公開とします。
シチュエーションは、全ファイナリスト共通のシチュエーションで審査を行います。
お客様役は「繁盛店への道」スタッフがを行います。

この「規定審査」においては、「対応の仕方」に対する審査と、
繁盛店への道への審査基準となる「また逢いたい度」における「好感度」及び「信頼感」「感動」の
3項目について審査を行います。

「自由審査」サーバーが日常の現場の中で、常連客及び新規客に対してどのようなサービスを提供し、
自分のお店のファンにしているかを再現してもらい、そのサービス内容を審査

この「自由審査」は、上記のデモンストレーションに加え、PR時間をデモンストレーション後に設けます。
PRにおいては、テーマは自由とし、会場のお客様に対して、「想い」を伝えてください。
尚、このPRの内容は、会場のお客様の審査対象となります。
設定を「常連客」と「新規客」の2設定とし、（下記「各審査における詳細及び注意事項」参照のこと）、
それぞれのお客様に対するサービスデモンストレーションをしていただきます。

この「自由審査」においては、繁盛店への道の審査基準となる「また逢いたい度」の
「好感度」「ユニークさ」「清潔感」「信頼感」「感動」の5項目すべてにおいて審査を行います。

● 審査基準

「規定審査」および「自由審査」のデモンストレーションにおいて、
審査基準となるのは、繁盛店への道が定める「また逢いたい度」によって
審査を行います。
「また逢いたい度」は、「好感度」「ユニークさ」「清潔感」「信頼感」「感動」の
5カテゴリーによって構成されているが、それぞれのカテゴリーにおいて、
審査対象となるのは、下記一覧記載の通りです。

好感度	笑顔などの表情 アイコンタクトの仕方、間、タイミング 気配り・配慮
-----	---

ユニークさ	個性・オリジナリティ 接客のスタイル（役作りなど） 表情やアクション・言葉
-------	---

清潔感	ユニフォームの着こなし 姿勢 言動
-----	-------------------------

信頼感	専門知識（商品など） お店に対するロイヤリティ お店のPRやお勧めの仕方 お店の業態特性など
-----	---

感動	オリジナリティサービス ホスピタリティのすぐれたサービス
----	---------------------------------

他のサーバーには無いものなど

(注:上記事例は代表的事例を抜粋記載)

審査カテゴリー	重点審査項目
「規定審査」	①対応の仕方
	②信頼感
	③好感度
「自由審査」	①好感度
	②ユニークさ
	③清潔感
	④信頼感
	⑤感動

● 審査時間

規定審査	3分間を目安とします。	3分を目安として、2つのシチュエーション対応をしていただきます。 超過時間に対するペナルティはありません。
自由審査	デモンストレーション審査 7分間 PR時間 1分30秒	サーバーのデモンストレーションが終了してから、PR時間となります。 超過時間に対するペナルティがあります。 (下記注意事項参照)

上記各時間は、最初に7分間のデモンストレーション時間が与えられ、終了後に1分30秒のPR時間が設けられます。
* 合計8分30秒を自由に使えるのではなく、あくまでデモ時間、PR時間として明確に分けて与えられます。

またデモンストレーション審査の開始に際して、各自で作成していただいたパワーポイントによる1分30秒の紹介スライドを放映します。
(パワーポイントの作成に関しては、第五回地区大会に準じます)別途案内させていただきます。

● 各審査における詳細及び注意事項

「規定審査」

審査時間は、3分間を目安としますが、時間制限及び超過時間に対するペナルティなどの設定は設けません。

(規定審査シチュエーション設定)

- ①・すべて新規(常連ではない)のお客様とします。
- ②・お客様からの問いかけによってシーンは始まります。
- ③・クレームの設定の可能性もあるが、あくまでお客様は善意のお客様であり「クレマー」の設定ではありません。
- ④・デモンストレーションにおいて、使用するツールや配布物などの制約は無いものとします。
- ⑤・お客様役は、繁盛店への道のスタッフが行います。
- ⑥・デモンストレーション終了はサーバーの挙手にて合図とします。

「自由審査」

(自由審査設定)

- ①・ステージ上には2つのテーブル(2組のお客様)がいる設定。
- ②・各テーブルへの配置されるお客様役人数はそれぞれ最大4名とします。
- ③・テーブルではなく、カウンターなどの設定でも可です。
- ④・必須条件は2組のお客様への対応を行う前提とします。
- ⑤・2組のお客様は、それぞれ「新規のお客様」と「常連のお客様」という設定です。

「新規のお客様」へのデモンストレーションでは、ファイナリストがいかにして「自分のファン」にしていくのかという「新規から顧客への」プロセスをデモンストレーションとして表現していただきます。

「常連のお客様」へのデモンストレーションは、ファイナリスト自身の得意なサービスを表現してもらいます。記念日であったり、常連のお客様の設定は自由とします。

* 新規客への接客デモにおいて、いかにして「とりこ」にしていくのかのプロセスや表現、接客方法を審査し、常連客の接客においては、オリジナリティや得意な接客スタンスを魅せることでまた逢いたい度を審査します。

「新規」「常連」でのデモンストレーションを分けて行うのか、ミックスしながら

接客シーンを展開するのはファイナリストの裁量に委ねるものとします。

持ち時間は7分間であり、持ち時間終了以前にデモンストレーションが終了した場合には、引き続きPR時間へ移行します。

7分間でデモが終了しなくとも、7分間が過ぎた時点で審査員の審査は終了します。

審査員は7分間の中のデモンストレーション内容にて審査を行うものであり、7分を超過した内容は審査員審査に加味されません。その場合でも、デモンストレーションが終了するまでは、司会等より、強制的に終了させることはありません。但し、ペナルティとして、超過30秒毎に、10ポイントの減点がされますので注意してください。

最後の1分30秒はファイナリストが自由に会場のお客様及び審査員に対して決意やビジョンそして、自由審査におけるデモンストレーションの意味や補足のプレゼンテーションとして使用できるPR時間です。この内容は、会場審査員(お客様)の審査対象となります。

その他

審査の中で、使用する食器などは、規定は事務局手配とし、自由は、各サーバーの手配となります。デモンストレーションで、本物の食材や火などを使用することはできません。食器、グラスのみの使用とします。(ただしワインなどのボトルの持ち込みは、中身を出さないという前提で認めるものとします。)
テーブルやカウンターは、増やすことはできません。また同様にお客様役の数を規定より多くすることもできません。
配布物やツールなどの制約はありませんが、内装品については一切持ち込みはできないものとします。(カウンターの上におく花、装飾品、観葉植物など)